

(県協働部署用) 協働事業評価・報告書

事業名	活動団体をつなぐことのできる地域協働の活性化事業
団体名	特定非営利活動法人街カフェ大倉山ミエル
県協働部署名	いのち・未来戦略本部室
事業期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

1 個別事業ごとの実施結果

事業 1	大倉山モデル地域での地域協働活動の推進事業
(1) 目標	大倉山モデル地域での地域活動の新たな展開として、地域の各団体をつないで協働活動を展開し、その効果と課題を見える化する。
(2) 実績	大倉山モデル地域でのコミュニティの活性化を図るための協働活動として、「熊野の森もろおかスタイルとの協働活動」、「菊名あったか支援」、「フードパントリー」「ミエル企画部」、「港北区子ども若者支援団体交流会」、「赤ちゃんカフェ」、「認知症カフェ」、「居場所立上等相談受付・活動ヒアリング」、「地域情報誌参画・支援」、「よこはま・子ども若者が孤立しない研究会」「ケア会議出席等困窮者支援ネットワーク化」「つながるミニフォーラム」を実施した。(活動日計 105 日、参加者数計 4,001 人)
(3) 実績・成果に対する評価	<p>ミエル単独ではできない、人的なつながりの拡がりや活動場所も増え、地域活動の参画窓口も広がった。</p> <p>コロナ禍で広がった「外に出ない」「人と会うことを控える」というマインドが残っている中、ミエル企画部を中心として活動的に取り組みをしている。</p> <p>支援団体の交流会や行政、社会福祉協議会との連携を通し、新たな団体とつながりができたことや、地域に暮らす人が自主的に活動の企画・運営をすることで担い手の育成に繋がっており評価できる。</p> <p>負担金終了後もこれらの取り組みを継続し、連携や協働が広がることを期待する。</p>
(4) 進捗状況	<p>ア) この事業の進捗は何%ぐらいですか。 (100%) ※1年間で目標が達成できた場合に「100%」になることを基準に判断してください。</p> <p>イ) 上記ア)のように判断した理由を記入してください。 大倉山地域以外のところでも地域活動参画の間口が拡大している。</p> <p>ウ) この事業の課題と対応策 行政やケアプラザ、地区社協、民生委員とも連携し、継続的に担い手を育成していく必要がある。 また、「楽しさ・やりがい」「金銭報酬」のバランスを研究し、活動に関わる人達の持続可能性についての発信を期待する。</p>
事業 2	県域モデル構築事業
(1) 目標	県域で活動内容のヒアリングと課題や地域資源の洗い出しを行い、選定した県域モデル地域で地域協働活動をコーディネートし、活動の見える化を支援する。
(2) 実績	茅ヶ崎地域 14 日、大磯 3 日の計 17 日活動を行い、計 145 人が参加した。
(3) 実績・成果に対する評価	茅ヶ崎地域の「さろんどて」を中心とした活動団体等の支援について、大倉山ミエルの「ゆるく、小さなつな

	<p>がりづくり」が実践できている。</p> <p>また、新たに大磯でも大学と連携した伴走支援や福祉施設建設の実施計画支援を行っている。</p> <p>今後は、他の地域（新川崎、三浦）についても、具体的な活動が始まるよう期待する。</p>
(4) 進捗状況	<p>ア) この事業の進捗は何%ぐらいですか。</p> <p>(90%)</p> <p>※1年間で目標が達成できた場合に「100%」になることを基準に判断してください。</p> <p>ロ) 上記ア)のように判断した理由を記入してください。</p> <p>茅ヶ崎、大磯地域での活動は活発化しているように見えるが、他2か所での活動状況があまり進んでいないように思われるため。</p> <p>ウ) この事業の課題と対応策</p> <p>県域モデル地域（茅ヶ崎地域）での居場所の安定した運営や地域協働活動のノウハウを他地域で活かしながら活動の活発化を期待する。</p>
事業3	普及のための研修事業
(1) 目標	地域の市民活動団体に対して、点的存在ではなく、面的な広がりを展開する地域協働活動を主軸とするサポーター研修を実施し、ブラッシュアップした地域活動の促進及び市民活動団体同士のネットワークの構築を図る。
(2) 実績	つながりの大切さ、居場所の立ち上げ方について、大倉山地域の協働活動のOJTと個別対応の研修を併用して行い、また、研修後もつながりの継続を図った。(18日開催・参加者計126名)
(3) 実績・成果に対する評価	昨年度よりも研修回数が増加したことや行政との連携が増えたことにより広い範囲で展開できていることは評価する。
(4) 進捗状況	<p>ア) この事業の進捗は何%ぐらいですか。</p> <p>(100%)</p> <p>※1年間で目標が達成できた場合に「100%」になることを基準に判断してください。</p> <p>ハ) 上記ア)のように判断した理由を記入してください。</p> <p>行政、大学やNPO等幅広い分野に対応するため参加者の興味に合わせた対話型の研修プログラムを取り入れる等、関わる団体を増やししながら目標としていた回数以上の実施ができていたため。</p> <p>ウ) この事業の課題と対応策</p> <p>研修参加者も様々な属性、フィールドを持つ人がいる中で、それぞれの要望に沿ったプログラムを作成し継続していくことを期待する。</p>

(注) 個別事業が2つ以上ある場合は、上の表を複写して記入してください。

2 協働事業を継続する上での課題とその対応策

令和5年度 協働事業終了

3 負担金事業終了後の貴課の考え方

本事業における拠点運営や協働活動活性化のノウハウ等は、人生100歳時代における一人ひとりの人生の充実に寄与する。負担金事業終了後の事業継続やモデルの展開のために、必要に応じて広報や周知等に協力、かながわ人生100歳時代ネットワークとの連携等を図る。

4 協働事業の評価 (はい・いいえ・どちらともいえない、に該当するものを残してください)

1 協働事業の成果		
(1)	協働することで、単独で事業を行うよりも効果やメリットがありましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	事業の受益者の満足を得ることができたと思いますか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(3)	協働事業の成果だと思うことがあれば記入してください。 活動が周知され、行政や大学との連携が進んだこと。	
2 協働事業の協議の状況		
<企画段階>		
(1)	事業計画や目標の立て方について、県と団体とは事前の調整や協議を十分行いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	県と団体とは対等な立場で協議を行いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
<実施段階>		
(3)	意思の疎通を円滑にし、事業の進捗状況を確認するため、県と団体とは節目ごとにメールや電話でのやりとりや定期的な協議を行いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(4)	相手方のフィールド(団体の事務所・活動現場)に足を運び、団体の置かれている状況や立場についての理解に努めましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(5)	必要な情報を団体と共有することができましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(6)	協議についての課題があると思われる場合は、記入してください。	
3 協働事業の役割分担		
(1)	団体との役割分担は適切でしたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	協働事業の実施にあたって、あらかじめ定められた役割を果たすことができましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(3)	役割分担についての課題があると思われる場合は、記入してください。	
4 協働事業全体を通しての評価		
(1)	全体として、県と団体とは対等な立場で協働ができましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	この事業の課題を解決する上で、協働という手法は有効だと思いましたか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(3)	協働事業全体を通じて気づいた点があれば記入してください。	
5 社会的認知の獲得		
(1)	取り組んでいる事業や成果について社会的認知が広がったと思いますか。	<input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	(1)で「はい」を選んだ場合、どういう点で社会的認知が広がったと思うか理由を記入してください。	

6 新たなネットワークの獲得	
(1)	この事業を実施する上で新たなネットワークをつくる（広げる）必要性がありましたか。 <input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	(1)で「はい」を選んだ場合、ネットワークをつくる（広げる）努力を団体と共に行いましたか。 <input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(3)	(2)で「はい」を選んだ場合、ネットワークをつくる（広げる）ことができましたか。 <input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
7 行政の施策等への影響	
(1)	協働事業の実施により、県職員のボランティア団体等に対する認識の変化や行政の施策等の改善のヒントにつながるようなことがありましたか。 <input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	(1)で「はい」を選んだ場合、具体的に変化や影響があったと思われることがあれば記入してください。 現場での生の声やNPO団体との関わり方について、とても参考になった。
8 費用対効果	
(1)	事業の効果から見て、要したコストは適切だと思いましたか。 <input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ・ <input type="checkbox"/> どちらともいえない
(2)	(1)で「いいえ」を選んだ場合、その理由と、今後の対応策を記入してください。